

新春挨拶

新年のご挨拶

一般社団法人 日本作業船協会 会長
千葉光太郎



会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返って最も特筆すべき出来事は、我が国憲政史上初の女性総理が誕生したことでしょう。物価高による国民の生活苦などから7月の参議院選挙では与党が敗北（運輸・港湾界にとっても大変残念な結果でした）。その後3ヶ月続いた政局混乱のなかでの電撃的な自維連立政権の誕生でした。

高市総理は就任早々、上々の外交デビューを果たしました。しかし、それもつかの間、台湾有事を巡る国会答弁に中国政府が猛反発しています。当分続きそうですが、この機会に経済を含めた安全保障についてしっかりと考えることが肝要だと思います。

また、先般成立した補正予算や新年度政府予算案で私達の暮らしや経済がどうなるかも気になるところです。円安による物価上昇を止め、実質賃金を失われた30年以前の水準まで戻さなければなりません。高市政権の舵取りは始まったばかりです。的確な財政・金融政策の実施と実効性のある成長戦略による強い経済の実現を見守りたいと思います。

特に、四面環海の我が国では、産業の発展や国民生活の維持において港湾は必須のインフラであり、その港湾を陰で支えているのが作業船です。しかし、我が国の作業船は、その建造を外国の造船所に依存するようになってきています。経済安全保障の観点から、この状況は改善する必要があります。政府は「日本成長戦略本部」で、造船を含む17の戦略分野を設定し、積極的な財政出動によって国内産業の供給構造を抜本的に強化しようとしています。中国や韓国の後塵を拝している我が国の造船業を復興し、商船のみでなく作業船についても国内造船所で100%供給できるようにすることを期待したいものです。

さて、昨年の協会活動を振り返りますと、1月から「次世代ドラグサクシヨン浚渫船の建造技術」の自主研究に着手いたしました。これまで2回の委員会を開催するとともに、5つの作業グループを設置して検討を進めています。

6月11日には定時総会を開催しました。総会後の講演会では、(一社)日本アンガーマネジメント協会の千原圭子氏から「6秒で人生が変わる！イライラと上手に付き合うためのアンガーマネジメント」と題して、聴衆との対話も交えながら日常で役立つお話を頂きました。

8月28日には現有作業船一覧2025版を発刊しました。今回は利用者様の利便性向上のため、データの検索、並び替えなどができる電子データ（エクセルファイル）を書き込んだCDを付けました。

10月24日には会員の皆様から毎年ご好評を頂いている関連施設現地調査を行いました。今回は北九州市にある若築建設様の「わかちく史料館」、下関港あるかぼーと岸壁に係留した関門港湾建設様の最新鋭グラブ浚渫船「第三関雄」、及び三菱造船様の「下関造船所江浦工場」を見学させて頂きました。そして、翌日には清原生郎理事のお計らいで同氏が理事長をされている下関ゴルフ倶楽部でミニコンペを開催させて頂きました。

本年も当協会は、これまで国内外で蓄積してきた技術と経験を活かして、作業船及び関連技術の発展に寄与してまいり所存です。会員の皆様、国土交通省ならびに港湾管理者のご指導、ご支援を重ねてお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様のご多幸と益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。